

輝く新社会人

小さい頃から子どもが好きで、保育園の担任だった保育士のようになりたかったと話してくれた太郎田さん。今は0歳児の保育をしています。保護者に保育園での子どもたちの様子を伝えるようにしているそうです、これからの目標は「子どもの気持ちを少しずつでも理解できる保育士になりたい」と話してくれました。

子どもの気持ちを大切に

太郎田志穂さん(20) マロンキッズ保育園



子どもの気持ちを理解して 行動していきたい

保護者との関係を大事に

栗山町で保育にチャレンジしてみたかったと話してくれた外山さん。今は1歳児の保育をしています。保護者との関係を大事にして、家庭での子どもたちの様子などを聞くようにしているそうです。学生時代と比べて変わった部分を見ると「周りの様子を見ながら行動するようになった」と話していました。

外山詩乃さん(21) マロンキッズ保育園



「子どもたちの成長を見ることができてうれしい」と話す太郎田さん。笑顔で子どもたちと触れ合っています。(写真上)

子どもたちが楽しめるように積極的に手助けをしている外山さん。(写真左)

主任に聞きました



2人とも明るく笑顔をやさず、子どもたちに一生懸命に寄り添いながら保育をしています。これから試練や大変なことが出てきます。何があっても笑っているときっと良いことがあると思っていま。笑顔の人には人が集まると信じています。どんな時でも、笑顔を忘れないで子どもたちと接してほしいです。

谷内 広美 主任



集 × 輝く新社会人

この春から新社会人として、町内で働き始めた新社会人の皆さん。都会に憧れ、地元から離れる人も少なくない中、目を輝かせながら頑張っています。今回取材したのは3事業所8人。社会人になった一人ひとりに胸に秘めた思いを語ってもらいました。また、職場の上司や先輩にもインタビュー。今後期待していることを語ってもらいました。



輝く新社会人

多世代との交流が増えた

父親がJA職員であることや、JAカレッジでの実習が就職のきっかけと話してくれた中弥さん。今は書類整理や電話対応、集金などを行っているそうです。学生時代と変わったことを聞くと「同世代との交流が中心でしたが、社会人になって多世代との交流が中心となり、学ぶことが多いです」と話していました。

中弥里奈さん(19) JAそらち南



顔と名前を早く覚えて笑顔であいさつをしていきたい

顔と名前を早く覚えたい

栗山高校出身ということもあり、栗山が好きで、事務系の仕事に就きたかったという大西さん。間違いをしないように気をつけているそうです。これからの目標を聞くと「農家の方や関係者の顔と名前を早く覚えて、レジ打ちや種苗肥料の取りまとめなど、与えられた仕事をしっかり行っていきたい」と話していました。

大西結女さん(18) JAそらち南



前田航哉さん(18) 共立道路株式会社

一歩一歩着実に

先輩が土木関係の仕事をしている姿を見たことが、就職のきっかけと話してくれた前田さん。これからの目標を聞くと「まずは基本的なことを身につけて、一歩一歩着実に前へ進んでいきたい」と笑顔のをぞかせていました。

仕事をしっかり覚えて着実に進んでいきたい

仕事を早く覚えたい

地域の方々のために良い道路を作りたいと思ったのがきっかけと話してくれた伊藤さん。先輩方が丁寧に仕事を教えてくれるので、仕事を早く覚えたいと話していました。学生時代と比べて変わった部分を聞くと「仕事が終わると体力的にも精神的にも疲れて、家に帰るとすぐに寝てしまいます」と話していました。

伊藤崇宏さん(18) 共立道路株式会社



松尾大輝さん(18) 共立道路株式会社



体調管理を徹底する

父親が土木関係の仕事をしている姿を見たことがきっかけと話してくれた松尾さん。先輩方がなぜ働くのか、仕事の意義を教えてください、社会人としての意識がより一層高まったそうです。道路上で仕事をするので「体調管理を徹底して、ケガや交通事故などには十分気をつけています」と話してくれました。

生まれ育ったまちで

札幌での就職も考えましたが、生まれ育ったまちで働いてみたいと思ったことが就職のきっかけと話してくれた三田さん。「礼儀や笑顔であいさつすることが一番大事なので、気をつけています」と笑顔で話していました。

三田啓介さん(23) JAそらち南



取締役に聞きました



大井川幹昌 取締役

若い人材を育てるため新規に3人を雇用しました。3人ともとても素直ですね。素直さがあるからこそ、人としての伸びしろがあると思います。同期の存在は特に大事にしてほしいです。悩みなどをお互いに共有しながら切磋琢磨して行ってほしいと思います。そして将来、会社を担えるような人材になってほしいですね。

参事に聞きました



高崎泰彦 参事

JAに入った当時の私たちに比べると、人としての完成度が高いと思います。3人とも栗山町と縁があつての採用となりましたので、ぜひとも長く働き続けてほしいし、仕事も若手らしく食欲に吸収してもらい、私たちも彼らから刺激を受けながら、ともに成長していければと思っています。